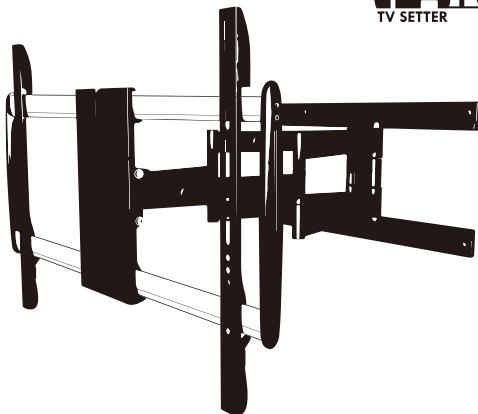


テレビ壁掛け汎用サイズ金具  
TV セッターアドバンス



SL126 M  
設置マニュアル




施工者の方へ

設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	壁面距離	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 100mm～450mmの間 横 150mm～660mmの間	37-65 インチ	40～ 600mm	35kg 

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、DIY(日曜大工)が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等是不しいでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

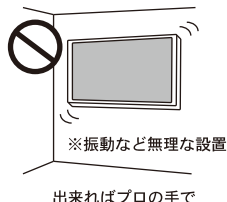
製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00～18:00(土・日・祝除く)

販売元: スタープラチナ株式会社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F  
<https://starplatinum.co.jp/>

## 設置にあたって：必ずお読みください

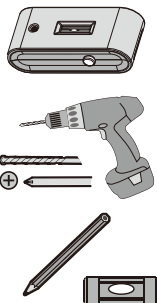


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱(スタッド)にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
  - ・振動があるような不安定な場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・湿度や温度の高い場所
  - ・テレビの通気が悪い場所(エアコンの側、天井のすぐ側等)
  - ・開閉するドアの側
  - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



## 設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー  
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。  
細い針(検知針)やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー  
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー  
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) 水平器  
壁に金具を取り付ける際に水平になっているかどうかを確認します。
- 5) ペン  
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 6) メジャー  
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 7) 柔らかい布  
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 8) 軍手  
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



## さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	壁面距離	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 100mm～450mmの間 横 150mm～660mmの間	37-65 インチ	40～ 600mm	35kg

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干細く短いネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

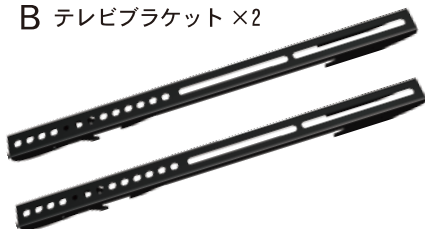
## 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

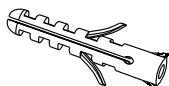
### A 金具本体



### B テレビブラケット×2



### C コンクリート壁用 アンカー×5



### D 壁用ラグボルト M6×50mm：5本



### E テレビ取付用ネジ



M4×12mm：4本



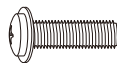
M4×18mm：4本



M5×12mm：4本



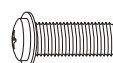
M6×12mm：4本



M6×18mm：4本



M8×12mm：4本



M8×18mm：4本

### F ワッシャー ×4



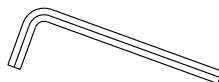
### H コンビネーションレンチ



### G セイフティボルト M4×10mm：2本



### I 5mm 六角レンチ



※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がしやすい場合があります。

その際はホームセンター等でご相談ください

※コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

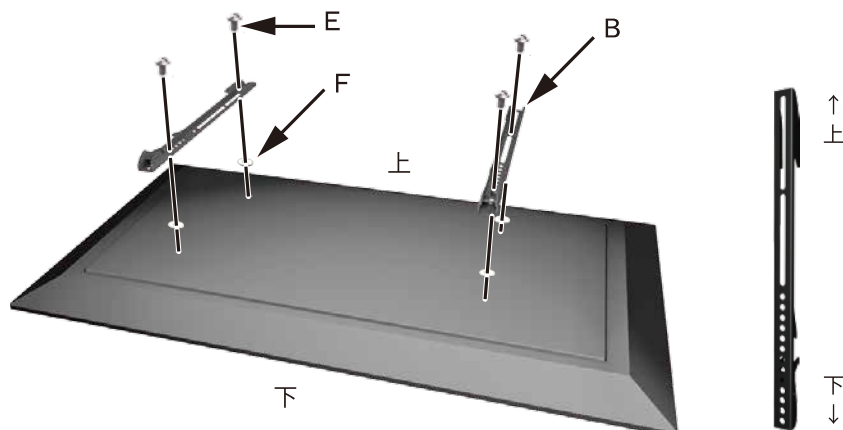
## ステップ1 テレビブラケットの取り付け

図を参考にして、お手元のテレビに合うネジを使用し、テレビブラケット [B] を2本、テレビ背面の4点のネジ穴に取り付けます。



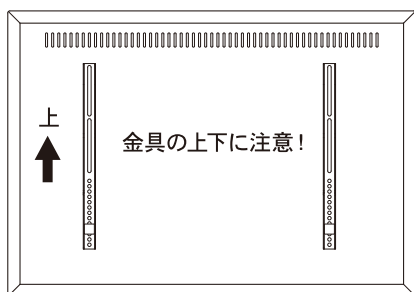
ご注意

- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ブラケットのネジ穴がテレビ背面に合わない場合、お取付けができません。設置作業を中止してください。



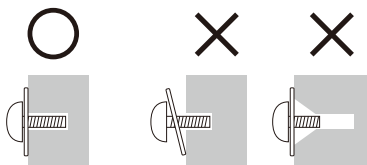
上図を参考にして左右のブラケット [B] をテレビの背面の壁掛け用ネジ穴に取り付けます。取り付けの際に上下をよく確認してください。

### 完成状態



ネジを取り付ける際には、テレビのネジ穴に合ったものをご使用ください。

ネジ穴の深さよりも短いネジ・長いネジの使用はテレビをしっかりと固定できず、落下やテレビを破損させる原因となります。



※テレビに合うネジが無い場合、お手数ですがホームセンターなどで用意ください。

## ステップ 2

## 壁の強度の確認と下穴の準備



テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

最重要ポイント

壁裏の間柱や強度のある壁に設置を！石膏ボードのみへのくぎ打ちでは強度不足です！

### ●壁の構造について(必ず耐荷重のある壁への設置を！)

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱(スタッド)に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分にご注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー(1500円程度)やキリを更に細くした検知針が便利です。

### ●間柱を見つけたら

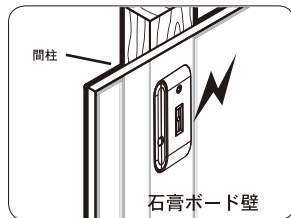
間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくはセンサーや検知針の説明書をご覧ください。

### ●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。

個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

### 石膏ボード壁は間柱に！

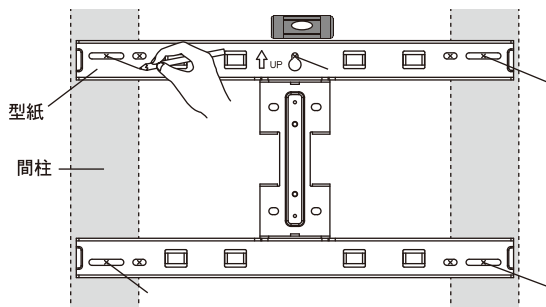


- 一般的な石膏ボード壁の場合  
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。キリ等を使う場合、何処か刺して柱の中央を見つめましょう。



### 1) 設置位置の確認

カラー版(英語)取扱説明書に付属の壁側プレートらの型紙を切り抜き、壁に当てて壁用ラグボルトを取り付ける位置を確認してマーキングします。



現在の主流である石膏ボード壁の場合、壁裏の間柱(スタッド)を見つけてください。間柱は一般的に40～45センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。間柱が確定したら、左図のようにネジ穴にマーキングをします。



目視と水平器を使い、水平になるよう確認してください。

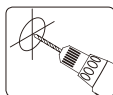
間柱(スタッド) 石膏ボード

直径4.5mm程度

深さ55mm程度

### 2) ネジ打ち用下穴の開削

壁を横から見た断面図(左)を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので慎重に作業を行ってください。

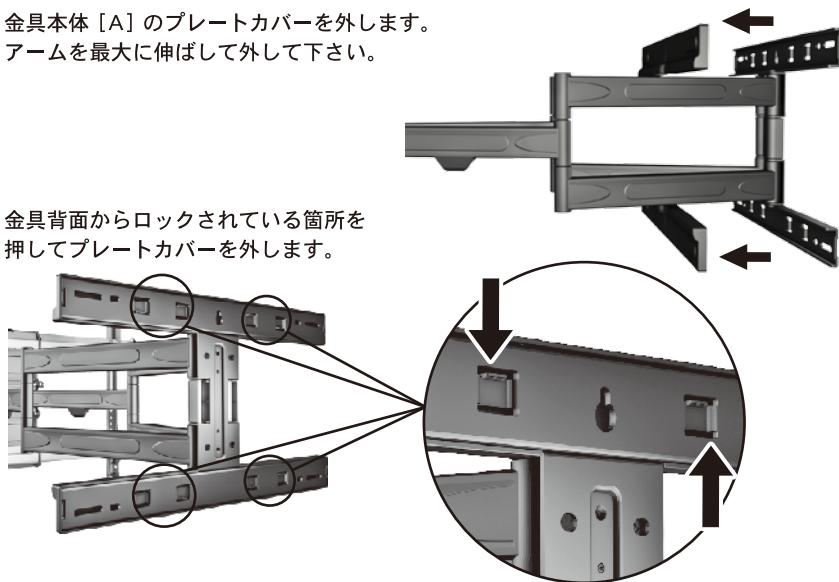


下穴は真直ぐに開けるよう注意してください

## ステップ 3-A 壁面への金具の取り付け準備

金具本体 [A] のプレートカバーを外します。  
アームを最大に伸ばして外して下さい。

金具背面からロックされている箇所を  
押してプレートカバーを外します。



## ステップ 3-B 壁面への金具の取り付け

下図を参考に壁用ラグボルト [D] を使用して、金具を壁面にしっかりと打ち付けます。



Step1 で開けた下穴に合わせて、壁用  
ラグボルト [D] で金具を壁面にしっかりと  
取り付けます。

※付属のラグボルト [D] を使用する場合は、  
ドリルドライバー用 M8 六角ソケットが  
必要です。

目視と水平器を使い、水平になるよう  
確認してお取付けください。



### 最重要ポイント

設置は自己責任です。必ず間柱などに設置を！  
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら(ネジの空効き等)設置を中断し、専門業者に相談して  
ください。

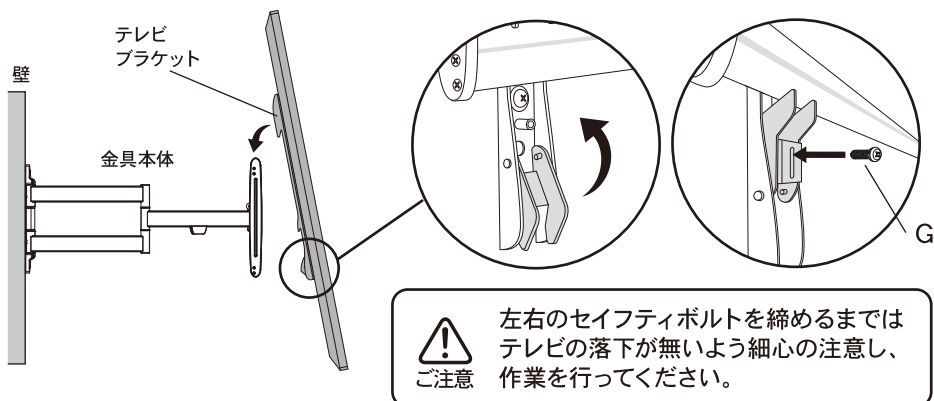
## ステップ4 テレビを金具本体に引っ掛けて、ロックします



二人での作業推奨



下図を参考にテレビを持ち、ブラケットを取り付けたテレビを金具本体のプレートにブラケット上部を引っ掛けます。  
ブラケット下部にあるロック部分を上に持ち上げ、金具本体のバーを挟むようにしてセーフティボルト [G] で動かさないようにしっかりと固定します。

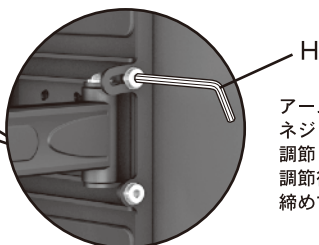
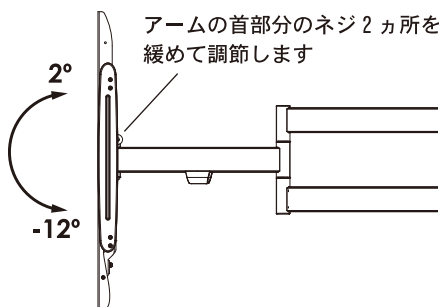
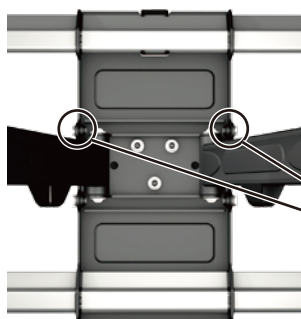


テレビを取り付けが終了したら、ステップ3-Aで外したプレートカバーを再び取り付けます。

## ステップ5 上下角度調節

上下にうなずき角度の調節をする場合、金具本体のアームの首部分のネジ2カ所を六角レンチ [H] を使って緩め、角度を調節します。  
調節後はネジをしっかりと締めてください。

金具を裏側から見たところ

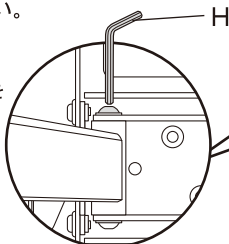


## ステップ 6

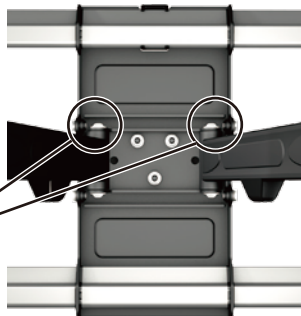
## 左右角度調節

左右の首振り角度調節をする際、固くて動かしづらかったり、簡単に動いてしまう場合は金具本体のアームの首部分のネジ 2 カ所を六角レンチ [H] を使って調節します。ちょうど良い固さに調節してください。

アームの首部分の  
上部のネジ 2 カ所を  
調節します。



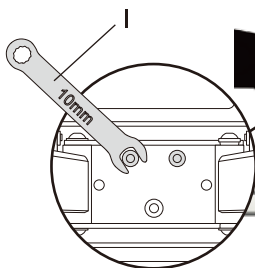
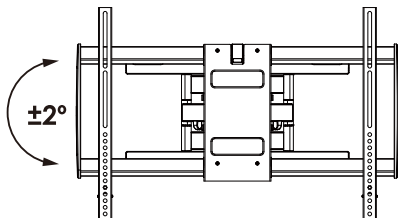
金具を裏側から見たところ



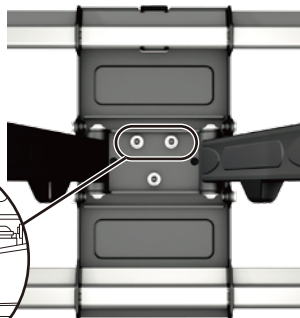
## ステップ 7

## 水平調節

テレビを設置後、水平が傾いている場合に調節ができます。金具本体のアームの首部分の内側にあるネジ 2 箇所をコンビネーションレンチ [I] で緩めて角度を調節します。



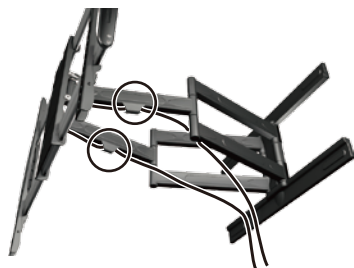
金具を裏側から見たところ



## ステップ 8

## ケーブルホルダーの活用

最後にアーム部分についているケーブルマホルダーに配線を通してとめます。



### 設置後の定期確認について



各取り付け部分や壁面部にガタつき等が無いか、チェックをしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締めなおしましょう。  
少しでも違和感があった場合、テレビをいったん取り外し、専門業者に相談してください。  
これらのチェック作業は 3 ヶ月に程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。